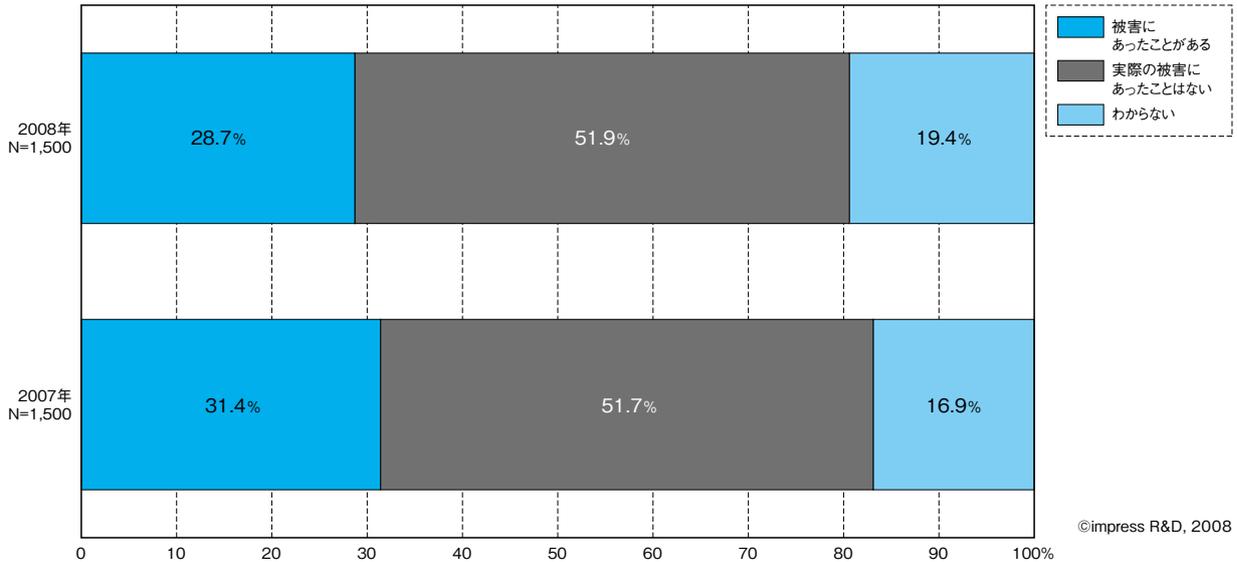


セキュリティ被害

■ セキュリティ被害にあったことがあるのは28.7%

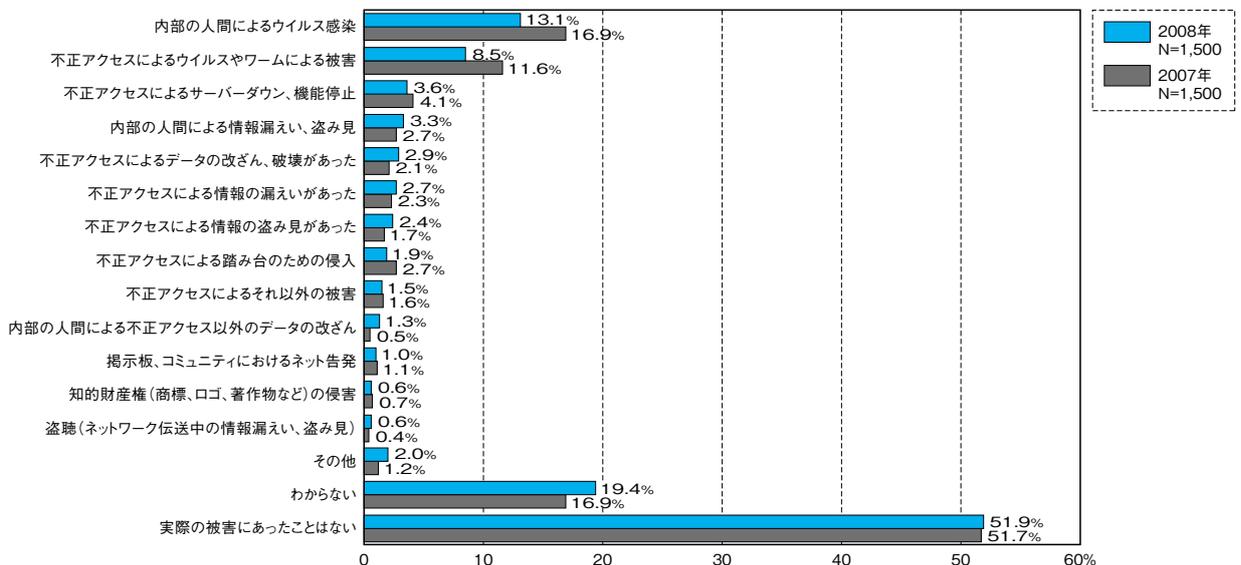
資料7-6-1 セキュリティ被害の有無[2007年-2008年]



企業のセキュリティ被害の有無をみると、「実際の被害にあったことはない」が51.9%で昨年とほぼ同じ比率である。一方、「被害にあったことがある」は28.7%で昨年の31.4%から減少している。本書には掲載していないが、大企業ほど「被害にあったことがある」の比率が高くなる傾向がある。

■ ウイルスによるセキュリティ被害が上位

資料7-6-2 セキュリティ被害の内容(複数回答)[2007年-2008年]



セキュリティ被害の内容をみると、「内部の人間によるウイルス感染」が13.1%で最も高いが、昨年と比較すると4ポイント近く低下している。以下、「不正アクセスによるウイルスやワームによる被害」が8.5%、「不正アクセスによるサーバーダウン、機能停止」が3.6%と続くが、全体的に比率は昨年より低下している。

## セキュリティ被害

## ■ 規模が大きいほどセキュリティ被害の経験が多い

資料 7-6-3 セキュリティ被害の内容(複数回答) [従業員規模別]

	全体 N=1,500	1～9人 N=151	10～49人 N=304	50～99人 N=144	100～299人 N=227	300～999人 N=215	1,000～4,999人 N=230	5,000人以上 N=229
内部の人間によるウイルス感染	13.1%	3.3%	6.6%	10.4%	17.2%	18.6%	16.1%	17.9%
不正アクセスによるウイルスやワームによる被害	8.5%	6.6%	7.2%	7.6%	7.0%	9.8%	10.9%	9.6%
不正アクセスによるサーバーダウン、機能停止	3.6%	1.3%	1.6%	2.8%	3.5%	4.7%	4.3%	6.6%
内部の人間による情報漏えい、盗み見	3.3%	0.0%	0.7%	1.4%	0.4%	4.7%	7.0%	7.9%
不正アクセスによるデータの改ざん、破壊があった	2.9%	2.0%	2.3%	0.7%	1.8%	2.8%	4.8%	5.2%
不正アクセスによる情報の漏えいがあった	2.7%	0.7%	0.3%	2.1%	1.8%	2.3%	6.1%	5.2%
不正アクセスによる情報の盗み見があった	2.4%	2.6%	1.0%	1.4%	0.9%	3.7%	2.6%	4.8%
不正アクセスによる踏み台のための侵入	1.9%	0.0%	0.3%	2.1%	1.3%	2.8%	2.6%	3.9%
不正アクセスによるそれ以外の被害	1.5%	0.0%	1.0%	2.8%	0.4%	1.9%	1.7%	3.1%
内部の人間による不正アクセス以外のデータの改ざん	1.3%	0.0%	0.7%	0.7%	0.0%	1.4%	2.2%	3.5%
掲示板、コミュニティにおけるネット告発	1.0%	0.0%	0.0%	0.7%	1.3%	1.9%	0.4%	2.6%
知的財産権(商標、ロゴ、著作物など)の侵害	0.6%	0.0%	0.3%	0.0%	0.4%	0.0%	0.4%	2.6%
盗聴(ネットワーク伝送中の情報漏えい、盗み見)	0.6%	0.0%	0.3%	2.1%	0.0%	0.0%	0.4%	1.7%
その他	2.0%	0.7%	1.6%	4.9%	0.9%	1.9%	2.2%	2.6%
実際の被害にあったことはない	51.9%	72.8%	65.1%	60.4%	47.6%	46.0%	37.4%	39.7%
わからない	19.4%	11.9%	14.8%	12.5%	22.0%	19.5%	26.5%	24.9%

©impress R&amp;D, 2008

セキュリティ被害の内容を従業員規模別にみると、大企業ほど被害を受けた比率が高く、従業員規模100人以上では2割弱が「内部の人間によるウイルス感染」の被害経験を持つ。1～9人の小規模企業では「不正アクセスによるウイルスやワームによる被害」の6.6%が最も高く、被害を受けた経験を持つ企業が少ない。



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)